

は今年も

検診

受けましたか？

コロナ禍による検診控えで、
がんの見逃しは
10,000人以上！

日本対がん協会によれば、2019年に比べて2020年はがん検診の受診率が3割も減少し、日本全体で1万人以上のがんが見逃されているのではないかと推計もあります。がんの発見が遅れば手遅れになることもあり、また経済的負担も重くなります。コロナ禍においても、継続してがん検診を受けることが大切です。検診施設のコロナ対策は万全ですので、今年こそ検診を。

もしも定期的に検診を受けていて、
早期に胃がんを見つけた場合

例えば…

ステージII

ステージI

胃がん検診の
場合

早く見つけたから、治療も
お金も負担が小さかったね

口から内視鏡を入れて、
がんのある部位のみを切る
手術を行います。



がんが見つからなくても
油断はNG!

去年やそれよりも前に検診を受けて、「異常がなかったから、自分は大丈夫だ」と安心しきるのはNG。発見が難しい、とても小さながんの芽はすでにあるかもしれません。ですから継続して検診を受けることが大切です。

がん治療中に受けられる 支援や給付

からだのつらさだけでなく、医療費、精神的なことなど、さまざまな悩みを持つ患者さんのために、下記の支援制度があります。仕事と治療の両立の不安を抱えている患者さんをサポートする体制もあります。

相談窓口 がん相談支援センター

全国のがん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、地域がん診療病院などにあります。看護師や社会福祉士、就労の専門家が配置されており、どなたでも以下のような相談ができます。

- ・がんと診断されて、気持ちの整理がつかない
- ・家族にどう話してよかわからない
- ・セカンドオピニオンを受けるにはどうしたらよいか知りたい
- ・医療費のことで不安。活用できる支援制度やその手続き方法を知りたい
- ・仕事と治療の両立の仕方を知りたい
- ・職場に病気のことをどう話せばよいか知りたい など

情報提供 がん情報サービス

国立がん研究センターによるWebサイト。がんの基礎知識や治療方法などの情報が確認できます。

健康保険の給付

- 療養の給付… 保険証を提示することで、医療費の原則3割負担で治療を受けられます。
- 高額療養費… 医療費が高くなったとき、月ごとに一定額（自己負担限度額）を超えた分が払い戻されます。
- 保険外併用療養費… 一定の条件のもと先進医療や治験などを受けたとき、診察などの基礎部分は原則3割負担で受けられます。ただし、先進医療部分など、健康保険適用の枠を超える部分は自己負担です。
- 傷病手当金… 療養のために4日以上仕事を休んだとき、生活の補償として、4日目から最長1年6ヶ月の間、1日につき原則として標準報酬日額の3分の2が支給されます。

その他、障害状態になった場合の障害年金や、介護保険サービスなどがあります。

あなた

がん

監修

東京大学大学院医学系研究科
総合放射線腫瘍学講座 特任教授

中川 恵一

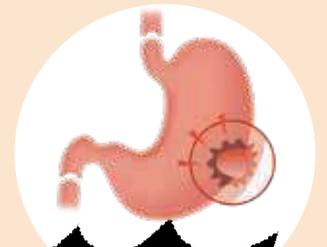
胃の痛みを感じてから受診し、
胃がんを見つけた場合

ステージIII

ステージIV

がんはかなり進行してからでないと症状をあらわさないため、早期発見のためには**定期的な検診がカギ**となります。

開腹して胃をすべて切除することがあり、ステージIVになると化学療法も加わります。



からだ・経済的な負担大

精密検査を受けるまでが

がん検診

精密検査か、
受けに行かないとなあ



がん検診を受けて「要精密検査」の結果が出た場合は、その指示通りに。精密検査を受けなければがん検診を受けなかった人同様に、がんの見逃しにつながります。

がん検診受診の 目安と生存率

下記のがん検診は、国が推奨している必ず受けておきたい検診です。早期発見であればどのがんも生存率が高いですが、遅れるにつれて生存率は低くなりますので、対象年齢の方は必ず検診を受けましょう。

	基本検査	受診の目安	ステージ別5年生存率	
胃がん	●胃部内視鏡 ●胃部X線	50歳以上2年に1回 (胃部X線検査は 40歳以上年に1回も可)	ステージⅠ：96.0% ステージⅡ：69.2%	ステージⅢ：41.9% ステージⅣ：6.3%
肺がん	●胸部X線	40歳以上年に1回	ステージⅠ：83.1% ステージⅡ：52.4%	ステージⅢ：26.9% ステージⅣ：6.6%
大腸がん	●便潜血	40歳以上年に1回	ステージⅠ：94.4% ステージⅡ：89.0%	ステージⅢ：77.5% ステージⅣ：18.8%
乳がん	●マンモグラフィ	40歳以上2年に1回	ステージⅠ：99.7% ステージⅡ：95.5%	ステージⅢ：80.6% ステージⅣ：37.2%
子宮頸がん	●子宮細胞診	20歳以上2年に1回	ステージⅠ：95.8% ステージⅡ：79.2%	ステージⅢ：64.3% ステージⅣ：25.2%

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」